

## 開放型冷水塔を有するごみ焼却施設に対する緊急調査結果

施設諸元等	名称	さかどしひがし 坂戸市東清掃センター	わらびとだ 蕨戸田衛生センター	松戸市クリーンセンター	八日市場市ほか三町環境衛生組合松山清掃工場
	所在地	埼玉県坂戸市大字赤尾2292	埼玉県戸田市大字美女木978	千葉県松戸市高柳新田37	千葉県八日市場市松山107
	処理方式 処理能力(注1)	准連続, ストーカ, 炉頂型, EP, 70トン/日	全連続, 流動床, ボイラ, EP, 270トン/日	全連続, ストーカ, ボイラ, 水, EP, 200トン/日	准連続, 流動床, 別置型, EP, MC, 80トン/日
	排ガス中のダイオキシン濃度(注2)	20(1号炉), 2.5(2号炉)ng-TEQ/Nm <sup>3</sup> (H9.11)	37ng-TEQ/Nm <sup>3</sup> (H9.10)	0.24, 0.31ng-TEQ/Nm <sup>3</sup> (H10.8)	1.185ng-TEQ/Nm <sup>3</sup> (H9.12)
	施設の運転・管理 の状況	日常管理と定期点検(年2~12回) 炉内850-870、集じん機入口250-280 CO濃度 3-83ppm	日常管理と定期点検(年4~6回) 炉頂870-890、集じん機入口270-280 CO濃度 82-180ppm	日常管理と定期点検(年4回) 炉内840-890、集じん機入口230-250 CO濃度 3-10ppm	日常管理と定期点検(随時) 炉内平均930、集じん機入口平均85、 CO濃度 平均 350ppm
大防法に基づく立入検査	措置を講ずべき事項なし	措置を講ずべき事項なし	措置を講ずべき事項なし	措置を講ずべき事項なし	
ばい煙処理施設使用状況・測定結果	ばいじん0.0031g/m <sup>3</sup> 以下 塩化水素検出下限値未満(13mg/m <sup>3</sup> 未満)	ばいじん0.05g/m <sup>3</sup> 未満 塩化水素7.3mg/m <sup>3</sup> 以下	ばいじん0.001g/m <sup>3</sup> 以下 塩化水素1.7mg/m <sup>3</sup> 以下	ばいじん0.077-0.33g/m <sup>3</sup> 塩化水素228mg/m <sup>3</sup> 以下	
水濁法に基づく立入検査	措置を講ずべき事項なし	措置を講ずべき事項なし	措置を講ずべき事項なし	措置を講ずべき事項なし	
排水処理方法 排水測定結果(注3)	凝集沈殿, 砂ろ過, 活性炭, トレート処理 23項目分析, 検出なし 飯盛川に排水	凝集沈殿, 砂ろ過, 活性炭, トレート処理 24項目分析, 検出: 総水銀 下水道に排水	アルカリ凝集沈殿, 砂ろ過・活性炭吸着, 重金属除去(トレート処理) 24項目分析, 検出: なし 下水道に排水	凝集沈殿 排水なし(洗煙水: 冷却水として再利用)	
開放型冷水塔の運転・管理状況(注4)	ミストの飛散は確認されず(水蒸気のみ) <地上>	冷水塔の直近では、少量の水滴の落下が認められる <屋上>	風下約5m付近に少量の水滴の落下あり <地上>	ミストの飛散は確認されず(水蒸気のみ) <地上約8m>	
開放型冷水塔からの飛散防止対策	本年度中に密閉型間接冷却装置に変更予定	ビニールシートで飛散防止(応急措置) 恒久対策は検討中	現在, 検討中	密閉方式を検討	
開放型冷水塔付近の汚染状況(オーバーフローの有無等)	オーバーフローなし 灰の堆積等なし	オーバーフローなし 灰の堆積等なし	オーバーフローなし 灰の堆積等なし	オーバーフローなし、灰の堆積等なし 冷水塔の側面の送風機の軸受けからごく少量の漏水があるが、改善されている。	
冷却水の測定結果(単位: mg/L)(注3)	24項目分析 カドミウム(0.004)、鉛(0.10)、 総水銀(0.0092)、砒素(0.012)	24項目分析 カドミウム(0.066)、鉛(2.4)、総水銀(0.038)	24項目分析 総水銀(0.0018)	24項目分析 カドミウム(0.26)、シアノ(0.2)、鉛(4.6)、 総水銀(0.0085)、セレン(0.007)	
備考	排水自主測定記録: 超過なし	排水自主測定記録: 超過なし	排水自主測定記録: 超過なし		

注: 1. 処理方式: 炉型式, 燃焼方式, ガス冷却方式, ばいじん処理方式, 処理能力 2. 排ガスダイオキシン濃度は自主測定の結果, ( )内は測定時期。

3. 健康項目のうち, 分析項目数及び検出項目の濃度を記載 4. 管理状況の&lt; &gt;内は, 開放型冷水塔の設置場所

開放型冷水塔を有するごみ焼却施設に対する緊急調査結果

施設諸元	名称	むさしのみたかちく 武蔵野三鷹地区保健衛生組合立 第1処理場	むさしのみたかちく 武蔵野三鷹地区保健衛生組合立 第2処理場	横浜市環境事務局鶴見工場	くわな 桑名広域清掃事業組合清掃工場
	所在地	東京都三鷹市新川1-6-1	東京都武蔵野市緑町3-1-5	横浜市鶴見区末広町1-15	三重県員弁郡東員町大字穴太2541
元	処理方式 処理能力(注1)	全連続, ストカ, ボイラ, EP 195トン/日	全連続, ストカ, ボイラ, EP 195トン/日	全連続, ストカ, ボイラ BF, 1200トン/日	全連続, ストカ, 別置型, EP 200トン/日
	排ガス中のダイオキシンの濃度(注2)	1.6 ng-TEQ/Nm <sup>3</sup> (H9.10)	6.5 ng-TEQ/Nm <sup>3</sup> (H9.10)	0.0011-0.0079ng-TEQ/Nm <sup>3</sup> (H10.8-10)	5.8(1号炉), 13.0(2号炉)ng-TEQ/Nm <sup>3</sup> (H10.7)
等	施設の運転・管理 の状況	日常管理と定期点検(年1~6回) 炉内850-950、ホイル-出口275-280 CO濃度 20-30ppm	日常管理と定期点検(年1~4回) 炉内840-960、ホイル-出口272-298 CO濃度 平均50ppm以下	日常管理と定期点検(年2回/炉) 炉内893-929、集じん機入口216-221 CO濃度 33.6-41.2ppm	日常管理と定期点検(年1回) 炉内850-950、集じん機入口240-280 CO濃度 9-25ppm
	大防法に基づく立入検査	措置を講ずべき事項なし	措置を講ずべき事項なし	措置を講ずべき事項なし	措置を講ずべき事項なし
水濁法に基づく立入検査	ばい煙処理施設使用 状況・測定結果	ばいじん0.003-0.009g/m <sup>3</sup> 塩化水素13mg/m <sup>3</sup> 以下	ばいじん0.002-0.006g/m <sup>3</sup> 塩化水素検出下限値以下	ばいじん0.004g/m <sup>3</sup> 以下 塩化水素9.6-22.8mg/m <sup>3</sup>	ばいじん0.012-0.035g/m <sup>3</sup> 塩化水素40-248mg/m <sup>3</sup>
	排水処理方法 排水測定結果(注3)	凝集沈殿, 砂ろ過, 中和, キレート処理 24項目分析, 検出: なし 下水道に放流	凝集沈殿, 砂ろ過, 中和, キレート処理 24項目分析, 検出: 総水銀, ジクロロメタン 下水道に放流	凝集沈殿, 砂ろ過, キレート樹脂吸着 23項目分析, 検出: シアン, 1,1-ジクロロエチレン, シス-1,2-ジクロロエチレン 下水道に放流	凝集沈殿, 中和 排水なし(水処理後, 蒸発乾固)
開放型冷水塔に係る関連調査	開放型冷水塔の運転・管理状況(注4)	冷水塔の運転停止中 <屋上>	冷水塔の運転停止中 <屋上>	ミストの飛散は確認されず(水蒸気も確認されず) <屋上>	ミストの飛散は確認されず(水蒸気のみ) <地上>
	開放型冷水塔からの飛散防止対策	密閉型間接冷却装置とする。 (本年度1基、来年度2基)	完全密閉型冷却装置とする。 (本年度中の予定)	建屋内の屋根無しで約8mの壁で囲まれている	高さ約13mのフェンスあり さらなる対策を検討中
	開放型冷水塔付近の汚染状況 (オーバーフローの有無等)	オーバーフローなし 灰の堆積等なし	オーバーフローなし 灰の堆積等なし	オーバーフローなし 灰の堆積等なし	オーバーフローなし 灰の堆積等なし
	冷却水の測定結果 (単位: mg/L) (注3)	24項目分析 鉛(0.07), 総水銀(0.017)	24項目分析 鉛(0.10), 総水銀(0.038)	23項目分析(2号炉, 3号炉) シアン(0.034, 0.030), 砒素(0.003, 0.004), 総水銀(0.021, 0.025), 1,2-ジクロロエタン(ND, 0.005)	24項目分析 鉛(0.02), 総水銀(0.016)
備考	排水自主測定記録: 超過なし	排水自主測定記録: 超過なし	排水自主測定記録: 超過なし		

注: 1. 処理方式: 炉型式, 燃焼方式, ガス冷却方式, ばいじん処理方式, 処理能力 2. 排ガスダイオキシンの濃度は自主測定の結果, ( )内は測定時期。  
3. 健康項目のうち, 分析項目数及び検出項目の濃度を記載 4. 管理状況の< >内は, 開放型冷水塔の設置場所

開放型冷水塔を有するごみ焼却施設に対する緊急調査結果

	名称	京都市東部クリーンセンター	大阪府森之宮工場 <small>モリのみや</small>	吹田市北工場 <small>すいたし</small>	高槻市前島クリーンセンター第1工場 <small>たかつきしまえじま</small>
施設諸元等	所在地	京都市伏見区石田西の坪2-18	大阪府城東区森之宮1-6-11	大阪府吹田市千里万博公園4-1	大阪府高槻市前島3-8-1
	処理方式 処理能力(注1)	全連続, スト-カ, ボイラ, EP 600トン/日	全連続, スト-カ, ボイラ, 水EP, 900トン/日	全連続, スト-カ, ボイラ EP, 450トン/日	全連続, スト-カ, ボイラ, 水 EP, 450トン/日
	排ガス中のダイオキシンの濃度(注2)	1.50 ng-TEQ/Nm <sup>3</sup> (H9.11)	2.0 ng-TEQ/Nm <sup>3</sup> (H9.12)	0.95, 3.1, 0.33 ng-TEQ/Nm <sup>3</sup> (H9.7-12)	3.7 ng-TEQ/Nm <sup>3</sup> (H9.6)
	施設の運転・管理 の状況	日常管理と定期点検(年2回) 炉内880、集じん機入口225 CO濃度 80ppm	日常管理と定期点検(年1~2回) 炉内800以上、集じん機概ね200以下 CO濃度100ppm以下	日常管理と定期点検(年3~4回) 炉内883-922、集じん機入口211-259 CO濃度 5-22ppm	日常管理と定期点検(年4回) 炉内835-945、集じん機入口250 CO濃度 約23ppm
大防法に基づく立入検査	措置を講ずべき事項なし	措置を講ずべき事項なし	措置を講ずべき事項なし	措置を講ずべき事項なし	
	ばい煙処理施設使用 状況・測定結果	ばいじん0.004-0.041g/m <sup>3</sup> 塩化水素12mg/m <sup>3</sup> 以下	ばいじん0.005-0.0276g/m <sup>3</sup> 塩化水素1-3.9ppm	ばいじん0.005-0.015g/m <sup>3</sup> 塩化水素7mg/m <sup>3</sup> 以下	ばいじん0.001-0.006g/m <sup>3</sup> 塩化水素19mg/m <sup>3</sup> 以下
水濁法に基づく立入検査	措置を講ずべき事項なし	措置を講ずべき事項なし	措置を講ずべき事項なし	措置を講ずべき事項なし	
	排水処理方法 排水測定結果 (注3)	凝集沈殿, 中和, ろ過, キレート処理 23項目分析, 検出: シアン, トリクロロエチレン 下水道に放流	凝集沈殿, 中和 23項目分析, 検出: 鉛 下水道に放流	フェライト処理, キレート吸着, 中和 23項目分析, 検出: 鉛 下水道に放流	凝集沈殿, 砂ろ過, キレート吸着 20項目分析, 検出: カドミウム, シアン, 鉛, セレン 下水道に放流
開放型冷水塔に係る関連調査	開放型冷水塔の運 転・管理状況 (注4)	ミストの飛散は確認されず(水蒸気のみ) <屋上>	ミストの飛散は確認されず(水蒸気のみ) 強制冷却ではなく自然通風冷却 <屋上>	ミストの飛散は確認されず(水蒸気のみ) <地上>	ミストの飛散は確認されず(水蒸気のみ) <屋上>
	開放型冷水塔から の飛散防止対策	密閉型冷水塔へ取替予定	冷却水及び水蒸気のダイオキシンの測定を 行い, 対策を検討	安全を見込んで排気口にミスト防止ネット を設置の予定	間接型熱交換機を設け密閉化する改造工 事を行う予定
	開放型冷水塔付近 の汚染状況 (オーバーフロー等)	オーバーフローなし 灰の堆積等なし	オーバーフローなし 灰の堆積等なし	オーバーフローなし 灰の堆積等なし	オーバーフローなし 灰の堆積等なし
	冷却水の測定結果 (単位: mg/L) (注3)	24項目分析 カドミウム(0.011), 鉛(0.25), 総水銀(0.028)	24項目分析 カドミウム(0.02), 鉛(0.24), 総水銀(0.008)	23項目分析 カドミウム(0.007), 鉛(1.6), 総水銀(0.018)	7項目分析 カドミウム(0.021), 鉛(0.55), 総水銀(0.022) セレン(0.002)
備考	排水自主測定記録: 超過なし	排水自主測定記録: 超過なし	排水自主測定記録: 超過なし	排水自主測定記録: 超過なし	

注: 1. 処理方式: 炉型式, 燃焼方式, ガス冷却方式, ばいじん処理方式, 処理能力 2. 排ガスダイオキシン濃度は自主測定の結果, ( )内は測定時期。  
3. 健康項目のうち, 分析項目数及び検出項目の濃度を記載 4. 管理状況の< >内は, 開放型冷水塔の設置場所

開放型冷水塔を有するごみ焼却施設に対する緊急調査結果

	名称	もりぐちし 守口市クリーンセンター第4号炉	ねやがわし 寝屋川市クリーンセンター	かどまし 門真市環境センター第4号炉	ただおかちょう 忠岡町クリーンセンター
施設	所在地	大阪府守口市寺方錦通4-9-12	大阪府寝屋川市大字寝屋2462-2	大阪府門真市深田町19-5	大阪府泉北郡忠岡町新浜2-5-46
諸元	処理方式 処理能力(注1)	全連続, ストーカ, ボイラ, 水EP, 142トン/日	全連続, ストーカ, 別置型EP, 360トン/日	全連続, ストーカ, 炉頂型EP, 144トン/日	准連続, 流動床, 別置型BF, 30トン/日
	排ガス中のダイオキシン濃度(注2)	38.0 ng-TEQ/Nm <sup>3</sup> (H9.12)	8.00 ng-TEQ/Nm <sup>3</sup> (H10.2)	6.70 ng-TEQ/Nm <sup>3</sup> (H10.1)	18.6 ng-TEQ/Nm <sup>3</sup> (H10.5)
等	施設の運転・管理 の状況	日常管理と定期点検(年4回) 炉内850-950、集じん機入口295 CO濃度 60ppm	日常管理と定期点検(年1~2回) 炉内900-1050、集じん機入口240-254 CO濃度 30-80ppm	日常管理と定期点検(年2~4回) 炉内950-1000、集じん機入口255 CO濃度 10ppm	日常管理と定期点検(年2回) 炉内850-1000、CO濃度 262ppm
	大防法に基づく立入検査	措置を講ずべき事項なし	措置を講ずべき事項なし	措置を講ずべき事項なし	措置を講ずべき事項なし
	ばい煙処理施設使用 状況・測定結果	ばいじん0.005-0.015g/m <sup>3</sup> 塩化水素26mg/m <sup>3</sup> 以下	ばいじん0.004-0.013g/m <sup>3</sup> 塩化水素17mg/m <sup>3</sup> 以下 (洗浄塔出口濃度として)	ばいじん0.005-0.081g/m <sup>3</sup> 塩化水素18ppm以下	ばいじん0.0677g/m <sup>3</sup> 塩化水素27ppm
	水濁法に基づく立入検査	措置を講ずべき事項なし	措置を講ずべき事項なし	措置を講ずべき事項なし	措置を講ずべき事項なし
	排水処理方法 排水測定結果 (注3)	凝集沈殿, 砂ろ過, キレート吸着 下水道に放流	一定の比重を超えるとセメント固化 5項目分析, 検出: なし(雨水) 排水なし(セメント固化)	凝集沈殿, 中和, 砂ろ過, キレート吸着 6項目分析, 検出: 総水銀 下水道に放流	中和, 凝集沈殿, 砂ろ過(急速) 5項目分析, 検出: シアン 排水なし(処理後, ガス冷却室で噴霧)
開放型冷水塔に係る関連調査	開放型冷水塔の運転・ 管理状況 (注4)	ミストの飛散は確認されず(水蒸気のみ) <屋上>	ミストの飛散は確認されず(水蒸気のみ) <屋上>	ミストの飛散は確認できず(水蒸気のみ) <地上>	施設改造により冷水塔は使用しない構造 に変更済 <屋上>
	開放型冷水塔からの 飛散防止対策	バグフィルターへの変更工事に着手	冷水塔の停止又は冷却水槽にフィルター を設置する等の対策を検討	冷水塔の四方を囲う等の対策を検討	平成10年4月にバグフィルターに変更 済
	開放型冷水塔付近 の汚染状況 (オーバーフロー等)	オーバーフローなし 灰の堆積等なし	オーバーフローなし、灰の堆積等なし 冷却板の一部が破損し、漏水があった が、改善されている。	オーバーフローなし 灰の堆積等なし	オーバーフローなし 灰の堆積等なし
	冷却水の測定結果 (単位: mg/L) (注3)	分析中	5項目分析 鉛(0.55), 総水銀(0.068)	5項目分析 鉛(0.56), 総水銀(0.026)	バグフィルタに変更されているため, 冷 却水なし
備考	排水自主測定記録: 超過なし		排水自主測定記録: 超過なし		

注: 1. 処理方式: 炉型式, 燃焼方式, ガス冷却方式, ばいじん処理方式, 処理能力 2. 排ガスダイオキシン濃度は自主測定の結果, ( )内は測定時期。

3. 健康項目のうち, 分析項目数及び検出項目の濃度を記載 4. 管理状況の< >内は, 開放型冷水塔の設置場所

開放型冷水塔を有するごみ焼却施設に対する緊急調査結果

	名称	くまとりちよう 熊取町環境センター	みさきちよう 岬町美化センター	せんぼく 泉北環境整備施設組合(5号炉)	いずみきのしたじりちよう 泉佐野市田尻町清掃施設組合第2事業所
施設諸元等	所在地	大阪府熊取町大字久保2983-1	大阪府泉南郡岬町多奈川谷川1004	大阪府和泉市舞町92	大阪府泉南郡田尻町大字嘉祥寺290
	処理方式 処理能力(注1)	准連続, 流動床, 炉頂型 EP, 82トン/日	准連続, 流動床, 別置型 EP, 50トン/日	全連続, ストーカ, 別置型 EP, 150トン/日	全連続, ストーカ, 炉頂型 EP, 240トン/日
	排ガス中のダイオキシン濃度(注2)	A系13.0, B系9.30ng-TEQ/Nm <sup>3</sup> (H10.1;7)	12.0ng-TEQ/Nm <sup>3</sup> (H10.2)	6.60ng-TEQ/Nm <sup>3</sup> (H9.12)	1.0, 5.2, 4.6ng-TEQ/Nm <sup>3</sup> (H10.3)
	施設の運転・管理 の状況	日常管理と定期点検(年2回) 炉内800-900、集じん機入口230-270 CO濃度 148-235ppm	日常管理と定期点検(年2~4回) 炉内830-900、集じん機入口270 CO濃度 100ppm以下	日常管理と定期点検(年4回) 炉内820-900、集じん機入口280 CO濃度60ppm	日常管理と定期点検(年1~4回) 炉内800-900、集じん機入口250 CO濃度20ppm
	大防法に基づく立入検査	措置を講ずべき事項なし	措置を講ずべき事項なし	措置を講ずべき事項なし	措置を講ずべき事項なし
	ばい煙処理施設使用 状況・測定結果	ばいじん0.019-0.050g/m <sup>3</sup> 塩化水素22mg/m <sup>3</sup> 以下	ばいじん0.055-0.063g/m <sup>3</sup> 塩化水素110mg/m <sup>3</sup> 以下	ばいじん0.005-0.020g/m <sup>3</sup> 塩化水素38mg/m <sup>3</sup> 以下	ばいじん0.007g/m <sup>3</sup> 以下 塩化水素10mg/m <sup>3</sup> 以下
	水濁法に基づく立入検査	措置を講ずべき事項なし	措置を講ずべき事項なし	措置を講ずべき事項なし	措置を講ずべき事項なし
	排水処理方法 排水測定結果(注3)	凝集沈殿, 砂ろ過, 活性炭処理, トレート吸着 5項目分析, 検出: なし(雨水) 排水なし(水処理後, 蒸発固化)	トレート処理, 凝集沈殿, 砂ろ過, 活性炭, トレート吸着 6項目分析, 検出: なし 大阪湾に放流	凝集沈殿, トレート吸着, 中和 6項目分析, 検出: カドミウム, 鉛, 総水銀 下水道に放流	中和, 凝集沈殿, 砂ろ過, 活性炭 6項目分析, 検出: なし 田尻川に放流
開放型冷水塔に係る関連調査	開放型冷水塔の運転・ 管理状況(注4)	ミストの飛散はないが, 冷水塔から若干 水滴が落下 <地上>	ミストの飛散は確認できず(水蒸気のみ) <屋上>	ミストの飛散は確認できず(水蒸気のみ) <屋上>	ミストの飛散は確認できず(水蒸気のみ) <屋上>
	開放型冷水塔からの 飛散防止対策	冷水塔の停止を検討 バグフィルターへの変更を計画	バグフィルターへの変更を計画(11年 度着工予定) 冷水塔の停止を検討	冷水塔を開放型から密閉型への変更を検 討	冷却水槽にフィルターを設置するなどの 対策を検討
	開放型冷水塔付近 の汚染状況 (オーバーフローの有無等)	オーバーフローなし 灰の堆積等なし	オーバーフローなし 灰の堆積等なし	オーバーフローなし 灰の堆積等なし	オーバーフローなし 灰の堆積等なし
	冷却水の測定結果 (単位: mg/L)(注3)	5項目分析 カドミウム(0.07), 鉛(4.4), 砒素(0.02) 総水銀(0.81)	5項目分析 鉛(0.85), 総水銀(0.017)	5項目分析 シアン(0.21), 鉛(0.21), 砒素(0.012) 総水銀(0.014)	5項目分析 総水銀(0.0071)
備考		排水自主測定記録: 超過なし	排水自主測定記録: 超過なし	排水自主測定記録: 超過なし	

注: 1. 処理方式: 炉型式, 燃焼方式, ガス冷却方式, ばいじん処理方式, 処理能力 2. 排ガスダイオキシン濃度は自主測定の結果, ( )内は測定時期。  
3. 健康項目のうち, 分析項目数及び検出項目の濃度を記載 4. 管理状況の< >内は, 開放型冷水塔の設置場所

開放型冷水塔を有するごみ焼却施設に対する緊急調査結果

	名称	ひがしおおさかし 東大阪都市清掃施設組合第4工場	きしわだしかいづかし 岸和田市貝塚市清掃施設組合清掃工場	みなみかわち 南河内清掃施設組合清掃工場	せんなん 泉南清掃事務組合泉南清掃工場
施設諸元等	所在地	大阪府東大阪市水走4-6-25	大阪府貝塚市半田464	大阪府富田林市大字甘南備2345	大阪府阪南市尾崎町532
	処理方式 処理能力(注1)	全連続, ストーカ, ボイラ EP, 600トン/日	全連続, ストーカ, 別置型 EP, 600トン/日	全連続, ストーカ, 別置型 EP, 300トン/日	全連続, ストーカ, ボイラ, 水, EP, 190トン/日
	排ガス中のダイオキシン濃度(注2)	5.9, 14 ng-TEQ/Nm <sup>3</sup> (H10.1)	3.5, 2.7ng-TEQ/Nm <sup>3</sup> (H9.11,H10.2)	0.68, 0.88 ng-TEQ/Nm <sup>3</sup> (H10.6,H9.11)	3.6, 5.4ng-TEQ/Nm <sup>3</sup> (H10.7,H10.2)
	施設の運転・管理 の状況	日常管理と定期点検(年1~2回) 燃焼温度850-930、集じん機入口 260-280、CO濃度40-60ppm	日常管理と定期点検(年1~3回) 炉内880-900、集じん機入口230 CO濃度25-55ppm	日常管理と定期点検(年1~5回) 炉内850-1050、集じん機入口270 CO濃度10ppm	日常管理と定期点検(年1~4回) 炉内950-1000、集じん機入口230 CO濃度30ppm
	大防法に基づく立入検査	措置を講ずべき事項なし	措置を講ずべき事項なし	措置を講ずべき事項なし	措置を講ずべき事項なし
	ばい煙処理施設使用 状況・測定結果	ばいじん0.005-0.018g/m <sup>3</sup> 塩化水素13mg/m <sup>3</sup> 以下	ばいじん0.016-0.072g/m <sup>3</sup> 塩化水素13mg/m <sup>3</sup> 以下	ばいじん0.029g/m <sup>3</sup> 塩化水素5mg/m <sup>3</sup> 以下	ばいじん0.003-0.027g/m <sup>3</sup> 塩化水素77mg/m <sup>3</sup> 以下
	水濁法に基づく立入検査	措置を講ずべき事項なし	措置を講ずべき事項なし	措置を講ずべき事項なし	措置を講ずべき事項なし
	排水処理方法 排水測定結果(注3)	凝集沈殿, 砂ろ過, キレート吸着 18項目分析, 検出:なし 下水道に放流	凝集沈殿, 中和, 砂ろ過, レート吸着 5項目分析, 検出:なし(処理水) 排水なし(処理後, 蒸発乾固)	凝集沈殿, 中和, 砂ろ過, レート吸着 5項目分析, 検出:なし(処理水) 排水なし(処理後, 蒸発乾固)	凝集沈殿, 砂ろ過, 活性炭, レート吸着 5項目分析, 検出:なし 下水道に放流
開放型冷水塔に係る関連調査	開放型冷水塔の運転・ 管理状況(注4)	ミストの飛散は確認されず(水蒸気のみ) <屋上>	ミストの飛散は確認できず(水蒸気のみ) <屋上>	ミストの飛散は確認できず(水蒸気のみ) <地上>	ミストの飛散は確認できず(水蒸気のみ) <地上>
	開放型冷水塔からの 飛散防止対策	平成12年度までに冷水塔の撤去予定	冷却水の活性炭処理を検討	密閉型冷水塔への変更について検討	冷却水槽にフィルターを設置する等の対策を検討
	開放型冷水塔付近の 汚染状況(オーバーフロー等)	オーバーフローなし 灰の堆積等なし	オーバーフローなし 灰の堆積等なし	オーバーフローなし 灰の堆積等なし	オーバーフローなし 灰の堆積等なし
	冷却水の測定結果 (単位:mg/L)(注3)	18項目分析 カドミウム(0.034), 鉛(0.26), 総水銀(0.050)	5項目分析 カドミウム(0.07), 鉛(3.0), 砒素(0.01) 総水銀(0.049)	5項目分析 鉛(1.4), 総水銀(0.22)	5項目分析 カドミウム(0.06), 鉛(0.27), 総水銀(0.022)
備考	排水自主測定記録:超過なし	処理水自主測定記録:超過なし	処理水自主測定記録:超過なし	排水自主測定記録:超過なし	

注:1.処理方式: 炉型式, 燃焼方式, ガス冷却方式, ばいじん処理方式, 処理能力 2.排ガスダイオキシン濃度は自主測定の結果,( )内は測定時期。  
3.健康項目のうち,分析項目数及び検出項目の濃度を記載 4.管理状況の<>内は,開放型冷水塔の設置場所

開放型冷水塔を有するごみ焼却施設に対する緊急調査結果

	名称	神戸市落合クリーンセンター	神戸市港島クリーンセンター	尼崎市立クリーンセンター第1工場	尼崎市立クリーンセンター第3工場
施設諸元等	所在地	神戸市須磨区中落合3-1-1	神戸市中央区港島中町8-3	兵庫県尼崎市大高州8	兵庫県尼崎市大高州2
	処理方式 処理能力(注1)	全連続, ストーカ, ボイラ、水EP, 450トン/日	全連続, ストーカ, ボイラEP, 450トン/日	全連続, ストーカ, ボイラEP, 195トン/日	全連続, ストーカ, ボイラEP, 300トン/日
	排ガス中のダイオキシン濃度(注2)	0.66 ng-TEQ/Nm <sup>3</sup> (H9.)	0.34 ng-TEQ/Nm <sup>3</sup> (H9.)	1.7 ng-TEQ/Nm <sup>3</sup> (H9.10)	5.3 ng-TEQ/Nm <sup>3</sup> (H9.11)
	施設の運転・管理の状況	日常管理と定期点検(年4回) 炉内950-1000、集じん機入口230 CO濃度 14-80ppm	日常管理と定期点検(年4回) 炉内800-1000、集じん機入口240 CO濃度 18-61ppm	日常管理と定期点検(年2回) 炉内848、集じん機入口275.4 CO濃度25-30ppm	日常管理と定期点検(年2回) 炉内874、集じん機入口264.9-266.7 CO濃度25-50ppm
	大防法に基づく立入検査	措置を講ずべき事項なし	措置を講ずべき事項なし	措置を講ずべき事項なし	措置を講ずべき事項なし
	ばい煙処理施設使用状況・測定結果	ばいじん0.006g/m <sup>3</sup> 以下 塩化水素2mg/m <sup>3</sup> 以下	ばいじん0.008g/m <sup>3</sup> 以下 塩化水素2mg/m <sup>3</sup> 以下	ばいじん0.005-0.016g/m <sup>3</sup> 塩化水素11ppm以下	ばいじん0.005-0.006g/m <sup>3</sup> 塩化水素11ppm以下
	水濁法に基づく立入検査	措置を講ずべき事項なし	措置を講ずべき事項なし	措置を講ずべき事項なし	措置を講ずべき事項なし
	排水処理方法 排水測定結果(注3)	酸化, 中和, 凝集沈殿, キレート 24項目分析, 検出: なし 下水道に放流	凝集沈殿, 急速ろ過, 珪土吸着, 中和 24項目分析, 検出: 鉛 下水道に放流	凝集沈殿, 接触酸化, 砂ろ過, 活性炭吸着 4項目分析, 検出: なし 尼崎港に放流	凝集沈殿, ろ過, 珪土処理, 接触酸化, 中和 4項目分析, 検出: なし 尼崎港に放流
開放型冷水塔に係る関連調査	開放型冷水塔の運転・管理状況(注4)	ミストの飛散は確認されず(水蒸気のみ) <屋上>	ミストの飛散は確認されず(水蒸気のみ) <屋上>	ミストの飛散は確認されず(水蒸気のみ) <地上約10m>	ミストの飛散は確認されず(水蒸気のみ) <地上約10m>
	開放型冷水塔からの飛散防止対策	冷水塔の周囲を外壁で囲んでいる	冷水塔の周囲を外壁で囲んでいる	密閉式へ改造することを検討中	密閉式へ改造することを検討中
	開放型冷水塔付近の汚染状況(オーバーフロー等)	オーバーフローなし 灰の堆積等なし	オーバーフローなし 灰の堆積等なし	オーバーフローなし 灰の堆積等なし	オーバーフローなし 灰の堆積等なし
	冷却水の測定結果(単位: mg/L)(注3)	24項目分析 砒素(0.011)	24項目分析 鉛(0.009), 総水銀(0.001)	4項目分析 鉛(0.01), 総水銀(0.080)	4項目分析 カドミウム(0.008), 鉛(0.03), 総水銀(0.014)
備考	排水自主測定記録: 超過なし	排水自主測定記録: 超過なし	排水自主測定記録: 超過なし	排水自主測定記録: 超過なし	

注: 1. 処理方式: 炉型式, 燃焼方式, ガス冷却方式, ばいじん処理方式, 処理能力 2. 排ガスダイオキシン濃度は自主測定の結果, ( )内は測定時期。

3. 健康項目のうち, 分析項目数及び検出項目の濃度を記載 4. 管理状況の< >内は, 開放型冷水塔の設置場所

開放型冷水塔を有するごみ焼却施設に対する緊急調査結果

	名称	かこがわし 加古川市クリーンセンター	たからづかし 宝塚市クリーンセンター	かわにしし 川西市南部処理センター	くらしきしほくろちょう 倉敷市白楽町ごみ焼却処理場
施設	所在地	兵庫県加古川市平荘町上原200	兵庫県宝塚市小浜1-2-1	兵庫県川西市加茂6-10-13	岡山県倉敷市白楽町424
諸元	処理方式 処理能力(注1)	全連続, ストーカ, ボイラ, 水EP, 360トン/日	全連続, ストーカ, ボイラEP, 320トン/日	全連続, ストーカ, 別置型EP, 75トン/日	全連続, ストーカ, ボイラEP, MC 300トン/日
	排ガス中のダイオキシン濃度(注2)	3.5, 1.4, 1.8 ng-TEQ/Nm <sup>3</sup> (H9.11)	1.5, 4.0ng-TEQ/Nm <sup>3</sup> (H9.11,H10.1)	1.9 ng-TEQ/Nm <sup>3</sup> (H10.9)	0.75, 0.35ng-TEQ/Nm <sup>3</sup> (H9.11,H9.10)
等	施設の運転・管理 の状況	日常管理と定期点検(年1回) 炉出口922-953、集じん機204-242 CO濃度7-55ppm	日常管理と定期点検(年1~6回) 炉内870以上、集じん機入口270以下 CO濃度60ppm	日常管理と定期点検(年1~2回) 炉内800以上、集じん機入口330以下 CO濃度128ppm	日常管理と定期点検(年1回) 炉出口905-908 集じん機出口241-245 CO濃度10-15ppm
大	大防法に基づく立入検査	措置を講ずべき事項なし	措置を講ずべき事項なし	措置を講ずべき事項なし	措置を講ずべき事項なし
	ばい煙処理施設使用 状況・測定結果	ばいじん0.002-0.003g/m <sup>3</sup> 塩化水素10.4ppm以下	ばいじん0.01-0.02g/m <sup>3</sup> 塩化水素50ppm未満	ばいじん0.011-0.0568g/m <sup>3</sup> 塩化水素7mg/m <sup>3</sup> 以下	ばいじん0.0017-0.0121g/m <sup>3</sup> 塩化水素11.5mg/m <sup>3</sup> 以下
水	水濁法に基づく立入検査	措置を講ずべき事項なし	措置を講ずべき事項なし	措置を講ずべき事項なし	措置を講ずべき事項なし
	排水処理方法 排水測定結果(注3)	凝集沈殿, フェライト処理, 中和 23項目分析, 検出: 砒素 排水なし	凝集沈殿, 砂ろ過, レート処理, 活性炭吸着 下水道に放流	凝集沈殿, 砂ろ過 排水なし(処理後, 炉内噴霧)	凝集沈殿, キレート処理, 中和 7項目分析, 検出: なし 下水道に放流
開放型 冷水塔に 係る 関連 調査	開放型冷水塔の運 転・管理状況(注4)	ミストの飛散は確認されず(水蒸気のみ) <地上>	ミストの飛散は確認されず(水蒸気のみ) <地上約20m>	ミストの飛散は確認されず(水蒸気のみ) <地上約10m>	ミストの飛散は確認されず(水蒸気のみ) <屋上>
	開放型冷水塔から の飛散防止対策	開放型冷水塔から密閉型冷水塔へ改造予 定(平成11年度中)	冷水塔を防音壁で囲っている	二方には建屋があり、他の二方は線路、 と道路。冷水塔の対策を検討中。	遮へい板あり 密閉型へ変更予定
	開放型冷水塔付近 の汚染状況 (オーバーフローの有無等)	オーバーフローなし 灰の堆積等なし	オーバーフローなし 灰の堆積等なし	オーバーフローなし 灰の堆積等なし	オーバーフローなし 灰の堆積等なし
	冷却水の測定結果 (単位: mg/L)(注3)	23項目分析 総水銀(0.0073)			7項目分析 カドミウム(0.02), 鉛(0.73), 総水銀(0.15) セレン(0.03)
備考		排水自主測定記録: 超過なし		排水自主測定記録: 超過なし	

注: 1. 処理方式: 炉型式, 燃焼方式, ガス冷却方式, ばいじん処理方式, 処理能力 2. 排ガスダイオキシン濃度は自主測定の結果, ( )内は測定時期。  
3. 健康項目のうち, 分析項目数及び検出項目の濃度を記載 4. 管理状況の< >内は, 開放型冷水塔の設置場所

開放型冷水塔を有するごみ焼却施設に対する緊急調査結果

	名称	呉市焼却工場	鳴門市衛生センター	粕屋町清掃センター	佐世保市西部クリーンセンター
施設	所在地	広島県呉市多賀谷3-8-6	徳島県鳴門市撫養町木津字口中山200	福岡県糟屋郡粕屋町大字大隈294-1	長崎県佐世保市下本山町294-2
諸元	処理方式 処理能力(注1)	全連続, 回連式, ボイラEP, 300トン/日	准連続, ストーカ, 別置型, 1号炉EP, 湿式EP, 2号炉MC, 湿式EP, 60トン/日	機械ハッチ, ストーカ, 別置型湿式EP, 40トン/日	全連続, ストーカ, 別置型EP, 240トン/日
	排ガス中のダイオキシン濃度(注2)	4.9 ng-TEQ/Nm <sup>3</sup> (H10.2)	5.15 ng-TEQ/Nm <sup>3</sup> (H8.11)	4.90 ng-TEQ/Nm <sup>3</sup> (H10.2)	1.1 ng-TEQ/Nm <sup>3</sup> (H9.11)
等	施設の運転・管理 の状況	日常管理と定期点検(年2回) 炉出口846、集じん機入口247 CO濃度52-63ppm	日常管理と定期点検(1回/3年) 炉内870-990、ガス冷却室出口 250-280、CO濃度 記録装置無し	日常管理と定期点検(年4回) 炉内836、集じん機入口246 CO濃度 510ppm	日常管理と定期点検(年1回) 炉出口750-950、ガス冷却室出口260 CO濃度 17-18ppm
	大防法に基づく立入検査	措置を講ずべき事項なし	措置を講ずべき事項なし	自主測定でばいじん濃度が基準を超過したため、施設の改修を行っている。その後の自主測定、県の測定においては、基準値を遵守していた。	措置を講ずべき事項なし
	ばい煙処理施設使用 状況・測定結果	ばいじん0.006-0.05g/m <sup>3</sup> 塩化水素250-520mg/m <sup>3</sup>	ばいじん0.134-0.333g/m <sup>3</sup> 塩化水素91-207mg/m <sup>3</sup>	ばいじん0.18-0.55g/m <sup>3</sup> 塩化水素230mg/m <sup>3</sup> 以下	ばいじん0.005-0.03g/m <sup>3</sup> 塩化水素27ppm以下
水濁法に基づく立入検査	措置を講ずべき事項なし	措置を講ずべき事項なし	措置を講ずべき事項なし	措置を講ずべき事項なし	措置を講ずべき事項なし
	排水処理方法 排水測定結果(注3)	凝集沈殿, ろ過, キレート処理, 中和 24項目分析, 検出: カドミウム, 鉛, 亜鉛 下水道に放流	凝集沈殿, 接触ばっき, 砂ろ過(急速), 活性炭処理 24項目分析, 検出: なし 新池川に放流	中和, 凝集沈殿 排水なし(処理後, ガス冷却, 洗煙に利用)	凝集沈殿, 砂ろ過, 活性炭吸着 24項目分析, 検出: カドミウム 排水なし(洗煙水として循環利用)
開放型冷水塔に係る 関連調査	開放型冷水塔の運 転・管理状況(注4)	ミストの飛散は確認されず(水蒸気のみ) <屋上>	ミストの飛散は確認されず(水蒸気のみ) <地上部>	ミストの飛散は確認されず(水蒸気のみ) <地上>	ミストの飛散は確認されず(水蒸気のみ) <地上>
	開放型冷水塔から の飛散防止対策	高さ13mのフェンスで囲む その他の方策は, 現在検討中	密閉型等への改造を現在検討中	密閉型への改造を含めた対策を実施予定	湿式から乾式への変更に伴い, 開放型冷水塔は廃止する予定である。
	開放型冷水塔付近 の汚染状況 (オーバーフローの有無等)	オーバーフローなし 灰の堆積等なし	オーバーフローなし 灰の堆積等なし	オーバーフローなし 灰の堆積等なし	オーバーフローなし 灰の堆積等なし
	冷却水の測定結果 (単位: mg/L)(注3)	24項目分析(1号炉, 2号炉) カドミウム(0.004, 0.004), シアン(0.1, ND) 鉛(0.046, 0.029), 総水銀(0.012, 0.019)	24項目分析 カドミウム(0.65), シアン(0.4), 鉛(6.9), 砒素(0.010), 総水銀(0.0069), ベンゼン(0.004), 亜鉛(0.10)	24項目分析 鉛(0.09)	24項目分析 カドミウム(0.012), 鉛(0.14), 総水銀(0.0156)
備考	排水自主測定記録: 超過なし		屋内の配管から漏水あり。現在改造を計画中。		

注: 1. 処理方式: 炉型式, 燃焼方式, ガス冷却方式, ばいじん処理方式, 処理能力 2. 排ガスダイオキシン濃度は自主測定の結果, ( )内は測定時期。

3. 健康項目のうち, 分析項目数及び検出項目の濃度を記載 4. 管理状況の< >内は, 開放型冷水塔の設置場所

開放型冷水塔を有するごみ焼却施設に対する緊急調査結果

施設諸元等	名称	熊本市西部環境工場
	所在地	熊本市城山薬師町363
	処理方式 処理能力(注1)	全連続, ストーカ, ボイラ EP, 450トン/日
	排ガス中のダイオキシン濃度(注2)	1.0 ng-TEQ/Nm <sup>3</sup> (H9.9)
施設の運転・管理 の状況	日常管理と定期点検(年1回) 炉内概ね900、集じん機入口260-270 CO濃度平均50ppm以下	
大防法に基づく立入検査		措置を講ずべき事項なし
	ばい煙処理施設使用 状況・測定結果	ばいじん0-0.010g/m <sup>3</sup> 塩化水素0.5-7.2mg/m <sup>3</sup> 以下
水濁法に基づく立入検査		措置を講ずべき事項なし
	排水処理方法 排水測定結果(注3)	凝集沈殿, 中和, 砂ろ過, 糸ろ過, 活性炭 排水なし(排水処理後, 蒸発乾固)
開放型冷水塔に係る関連調査	開放型冷水塔の運 転・管理状況(注4)	ミストの飛散は確認されず(水蒸気のみ) <屋上部>
	開放型冷水塔から の飛散防止対策	平成11年5月には, バックフィルタに変更の予 定
	開放型冷水塔付近 の汚染状況 (オーバーフローの有無等)	オーバーフローなし 灰の堆積等なし
	冷却水の測定結果 (単位: mg/L)(注3)	24項目分析 カドミウム(0.010), 鉛(0.19)
備考		

注: 1. 処理方式: 炉型式, 燃焼方式, ガス冷却方式, ばいじん処理方式, 処理能力 2. 排ガスダイオキシン濃度は自主測定の結果, ( )内は測定時期。  
3. 健康項目のうち, 分析項目数及び検出項目の濃度を記載 4. 管理状況の< >内は, 開放型冷水塔の設置場所